

公共交通サービスの利用促進策（萩の台地区）について

1. 萩の台地区のコミュニティバスの利用状況

萩の台地区においては、コミュニティバスが既に導入・運行されているが、市の負担割合が相対的に高く、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、前年と比べて利用者数が減少しているため、需要掘り起こし等の観点も含めて利用促進に向けた取り組みを検討する。

表 1 コミュニティバスの路線別の生駒市の負担割合（令和元年度）

門前線	西畑・有里線	北新町線	萩の台線	光陽台線
22.8%	43.5%	49.7%	68.9%	16.6%

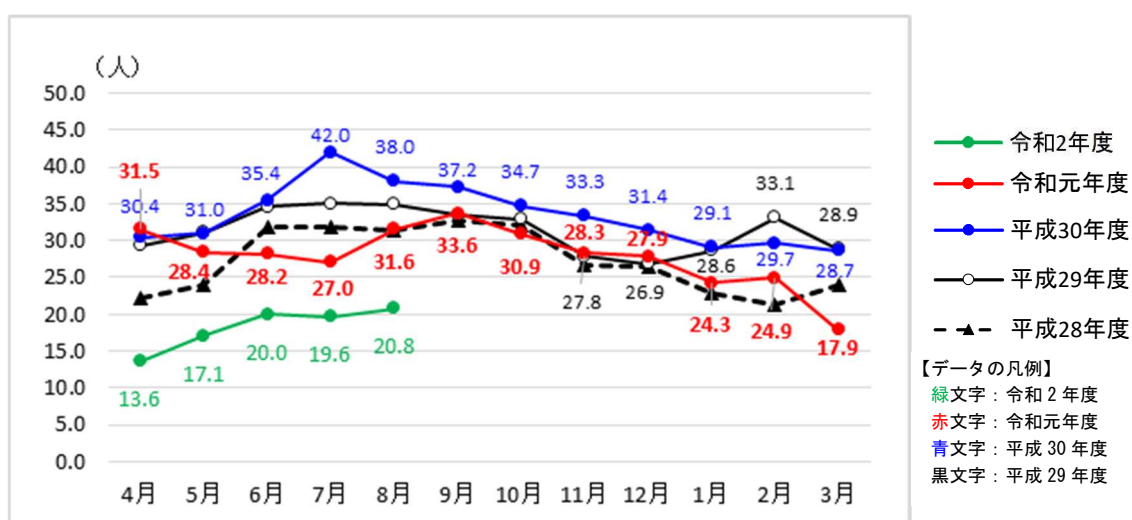


図 1 萩の台線の月別の1日あたりの平均利用者数の推移

2. 萩の台地区の利用者意向

平成29年度に実施された利用促進に向けた各自治会の意向把握調査によると、萩の台地区では、以下のような利用状況並びに意見にまとめることができる。

- ・買い物や定期的な通院などの日常生活に欠かせない行動については、午前中に集中。
- ・コミュニティバスの主たる利用者年齢層は70歳代以上。
- ・コミュニティバスを利用しない理由のうち、利用促進検討につながる事項は、行きたいところに走っていない(経路の問題)と利用したい時間に走っていない(ダイヤの問題)である。

【自由意見】

- ・現在は非利用でも将来不安であるためコミュニティバスは必要。
- ・時間帯については、土日の運行を希望。
- ・経路については、東生駒駅や市立病院、大瀬中学校、近大病院等の運行や停車を希望。

3. 萩の台地区の利用促進策

3.1 基本的な考え方

- ・利用促進のためにコミュニティバスの利便性を高めた結果、運行経費が大きく上がると、利用者数が増えても収支の改善が難しくなるため、出来る限り運行経費を増やさない方を検討する。
- ・現状打破の方策として、やはり取り組みやすい経路変更やダイヤ変更を検討する。

3.2 利用促進策（案）

現在の利用状況や利用者意向を踏まえ、以下に示す利用促進（案）について、地区等との協議を行い、実施の可能性について検討する。

1) 乗降方法の変更

内 容	相対的に利用者の多い萩の台住宅内において自由乗降方式※を採用
効 果	乗車の自由度・利便性が向上することで、利用者増を期待
備 考	新しい利用方法の周知、交通安全面への対応

※協議結果によっては、乗車のみの場合もある。



- : 現在のバス停位置
- : 自由乗降区間(案)

2) ダイヤの変更

内 容	- 乗降客が極端に少ない 14 時台便の萩③(8 便)と萩④(9 便)を萩の台住宅便に変更 - 駅からの帰宅対応として夕方便を拡充
効 果	需要と供給のマッチングによる効率性の向上
備 考	新しいダイヤの周知

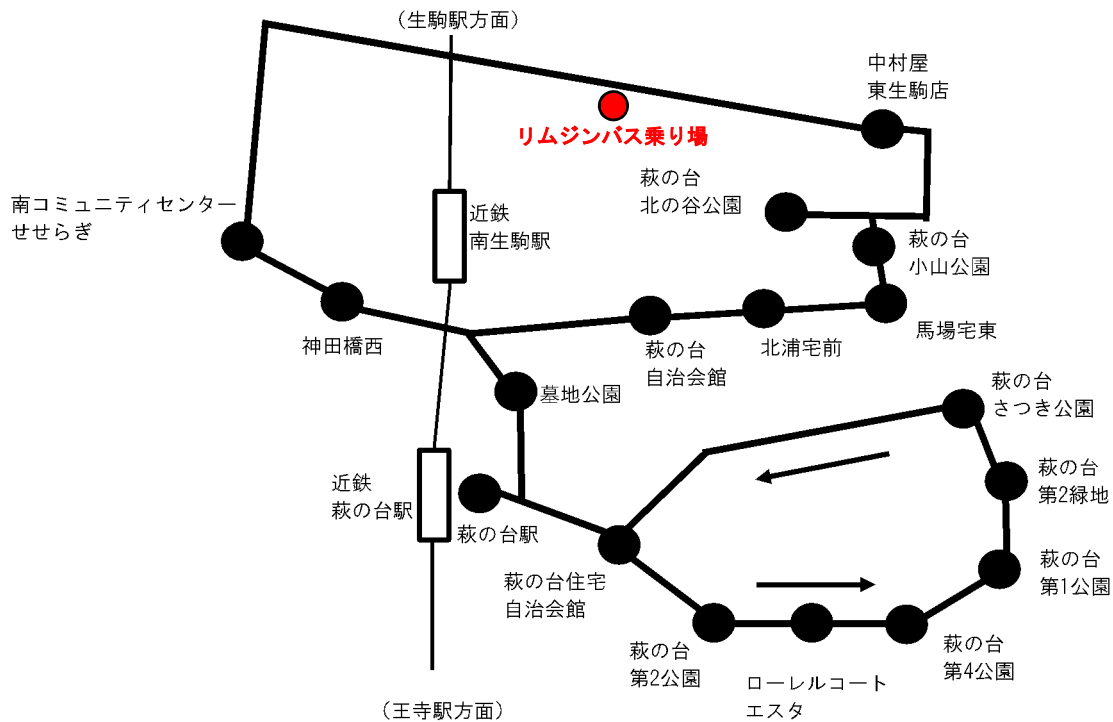
停留所/便	住①	萩①	住②	萩②	住+萩①	住③	住④	萩③	住⑤	住⑥	萩⑤	住⑦	住⑧
中村屋東生駒店	-	9:07	9:51	10:42		12:02	13:33		-	-	-	-	
南コミュニティセンターせせらぎ	-		9:59	10:50		12:10	13:41	14:17	14:53	15:30	16:30	17:12	
神田橋西	-		10:01	10:52		12:12	13:43	14:19	14:55	15:32	16:32	17:14	
墓地公園	-		10:03	10:54		12:14	13:45	14:21	14:57	15:34	16:34	17:16	
萩の台駅(着)	-		10:06	10:57	→11:15	12:17	13:48	14:24	15:00	15:37	16:37	17:19	
萩の台駅(発)	8:26		10:07	10:58	11:17	12:18	13:51	14:27	15:03	15:40	16:40	17:22	17:40
萩の台自治会館				11:01				14:30			16:43		
北浦宅前				11:02				14:31			16:44		
馬場宅東				11:03				14:32			16:45		
萩の台小山公園				11:04				14:33			16:46		
萩の台北の谷公園				11:06				14:35			16:48		
萩の台住宅自治会館	8:28		10:09	-	11:19	12:20	13:53	14:29	15:05	15:42	-	17:24	17:42
萩の台第2公園	8:29		10:10	-	11:20	12:21	13:54	14:30	15:06	15:43	-	17:25	17:43
ローランドエスタ	8:30		10:11	-	11:21	12:22	13:55	14:31	15:07	15:44	-	17:26	17:44
萩の台第4公園	8:32		10:13	-	11:23	12:24	13:57	14:33	15:09	15:46	-	17:28	17:46
萩の台第1公園	8:33		10:14	-	11:24	12:25	13:58	14:34	15:10	15:47	-	17:29	17:47
萩の台第2緑地	8:35		10:16	-	11:26	12:27	14:00	14:36	15:12	15:49	-	17:31	17:49
萩の台さつき公園	8:36		10:17	-	11:27	12:28	14:01	14:37	15:13	15:50	-	17:32	17:50
萩の台駅	8:40		10:21	-	11:31	12:32	14:05	14:41	15:17	15:54	-	17:36	17:54
停留所/便	住①	萩①	住②	住+萩①	住+萩①	住③	住④	萩④	住⑤	住⑥	萩⑥		
萩の台北の谷公園		9:13		11:06				14:35			16:48	-	
萩の台小山公園		9:14		11:07				14:36			16:49	-	
馬場宅東		9:15		11:08				14:37			16:50	-	
北浦宅前		9:16		11:09				14:38			16:51	-	
萩の台自治会館		9:17		11:10				14:39			16:52	-	
墓地公園		9:19		11:12				14:41			16:54	-	
萩の台駅		9:22		-				14:44			16:57	-	
神田橋西	8:44	9:26	10:25	-	11:35	12:36	14:09	14:45	15:21	15:58	17:01	-	
南コミュニティセンターせせらぎ	8:46	9:28	10:27	-	11:37	12:38	14:11	14:47	15:23	16:00	17:03	-	
中村屋東生駒店	8:54	9:36	10:35	-	11:45	12:46	-	-	-	-	-	-	

参考：令和2年度（4月～6月）における萩の台線乗降者数

萩の台線		
便別乗車数(人)		
1便	(8:26)	61
2便	(9:07)	56
3便	(9:51)	183
4便	(10:42)	33
5便	(11:06)	106
6便	(12:02)	276
7便	(13:33)	118
8便	(14:17)	6
9便	(14:35)	2
10便	(14:53)	75
11便	(15:30)	47
12便	(16:30)	17
13便	(16:48)	5
14便	(17:12)	48

3) バス停の追加

内 容	現在の運行経路上にあるリムジンバス乗り場に停車
効 果	近傍のマンション（ファインコート）居住者の利用を期待
備 考	バス停の新設、新しいダイヤの周知（ファインコート住民含む）

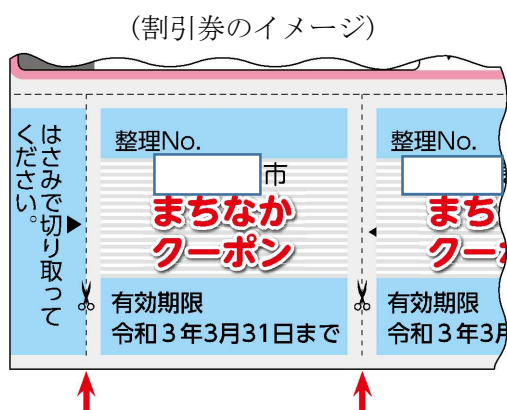


4) 商業施設とのタイアップ

- ・萩の台線には、中村屋東生駒店や神田橋西のような商業施設利用と考えられるバス停があり、一定の利用者数となっている。

→従前より利用促進策のメニューとして挙げられていた商業施設との連携を具体化（店舗との協議を実施）する。

→例えば、回数券購入時に協賛店で使用できる割引券（例. ○○円以上購入で●%引き）を付与する。



5) ピンポイント広報の実施

- ・自宅→(コミュニティバス)→目的地→(コミュニティバス)→自宅という移動以外の使い方を紹介する。

→例えば、コミュニティバスで中村屋東生駒店まで行き、奈良交通壺分バス停で乗り換えをし、東生駒駅へ。

→例えば、翠光台の方に対して中村屋東生駒店からコミュニティバスで萩の台駅まで行き、近鉄電車で王寺（又は生駒）方面へ。

4. 全体スケジュール

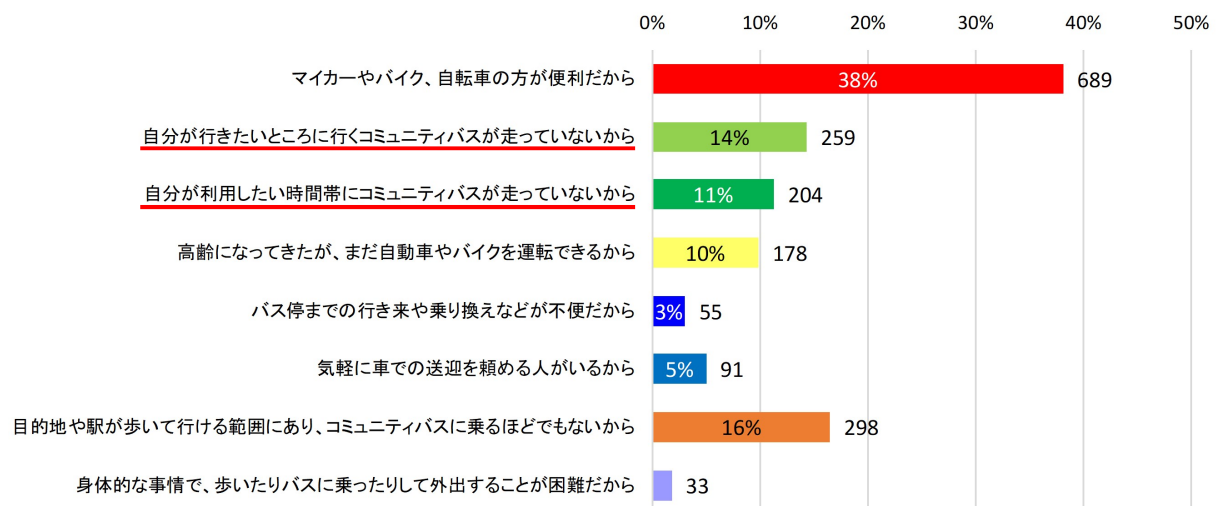
利用促進策のうち、1)乗降方法の変更〔自由乗降〕、2)ダイヤ変更は比較的早期に実施可能であり、本年度内で一定の効果の有無を確認することは可能である。

3)バス停の追加はマンション管理組合と協議中であるが、便数や帰宅方向となる駅→マンション便の方を期待することから、現状のダイヤではややミスマッチであり、実施の場合でも効果の程度は低い可能性がある。

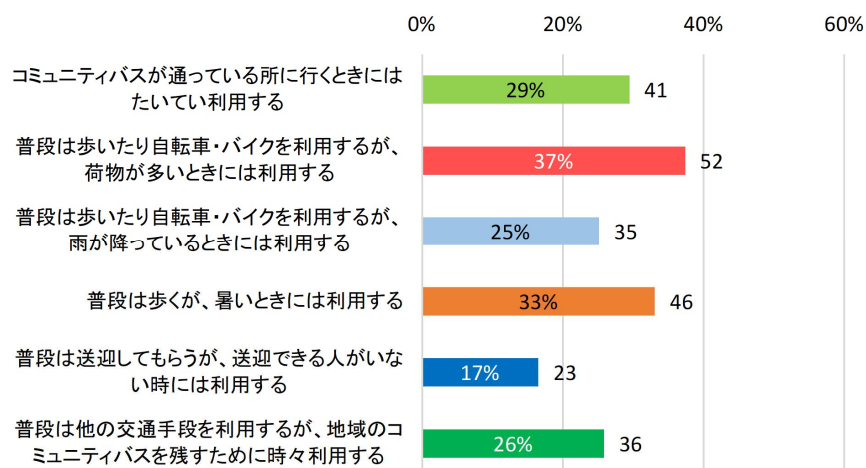
4)商業施設とのタイアップ、5)ピンポイント広報は継続的に取り組むとして、これら促進案を講じてもおお状況に変化が見られない場合、次年度早々には、次の様な対応策を実施していくことも必要である。

項 目	内 容	検討課題
運行日変更	・運行日を週5日から週3日に削減し、減となる週2日分については、他地区の路線での運行を行うことで、運行経費を削減（他地区との按分負担）する。 ・この場合、商業施設とのタイアップとのセットも含めて行うことで、利用者増と経費削減の相乗効果を期待する。	減となる2日分をどの地区のどの時間帯に組み込むことが効果的か。
運行経路変更	・乗降客数の少ない中村屋東生駒店を取りやめ、南コミュニティセンターせせらぎ折り返しに変更する。 ・乗降者数の多い萩の台住宅を中心とした経路に変更し、便数及び時間帯を手厚くする。	サービスが低下する方々に対する説明が必要。

参考：平成 29 年度アンケート調査結果（萩の台地区）

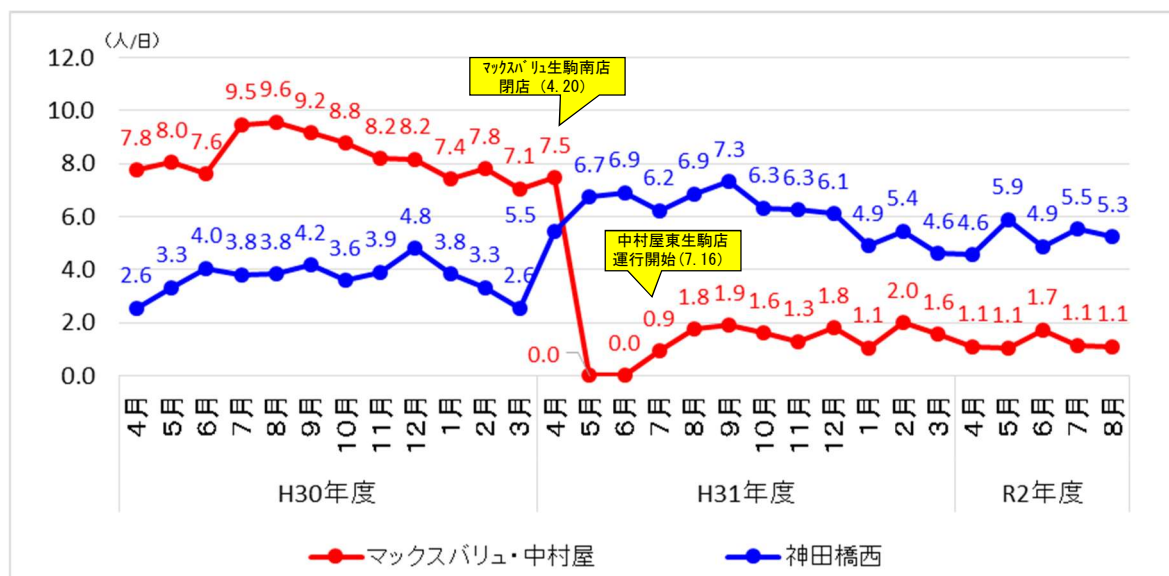


参考図 1 コミュニティバスを利用しない理由



参考図 2 コミュニティバスを利用する理由

参考：マックスバリュ生駒南店・中村屋東生駒店・神田橋西の利用者数の推移（萩の台線）



参考図 3 マックスバリュ生駒南店から中村屋東生駒店への経路変更前後の利用者数の推移